



中国における 高機能化学品生産

川口 順



1. ASEAN経済圏の中心

中国は、ASEAN経済共同体の中心になる経済大国とされています。20世紀末に、香港、マカオを相次いで吸収し、2003年10月に有人宇宙飛行を成功させたのも記憶に新しいところです。また、治水プロジェクトである三峡ダムの建設により、瀬戸内海の東西の長さを越える水域が出現します。さらに、2008年北京オリンピックに続く、2010年上海万博開催を控え、かつてのわが国の急成長の時代をはるかにしのぐピッチとテンポで、年率8%のGDP経済成長が続いています。2003年は、新型肺炎(SARS)の問題がありましたが、大規模な石油化学コンプレックスの建設やWTO加盟とともに、日系化学プラントの建設が続いています。

2. 高機能化学品の市場と生産品目

中国における市場形成と、日系企業の現地生産の開始により、材料・素材メーカーへの要望が高まる中で、当社は既に、中国において、繊維用や樹脂用薬剤などの高機能化学品を生産しています。当社と関係の深い二つの中国の都市と生産品目を紹介します。

(1) 天津市 直轄市である天津市は、人口1,000万人。この10年間の経済成長率は全国平均値を上回る勢いで、海河兩岸の再開発や地下鉄の建設計画などが進められています。大規模な化学プラントや自動車関連企業が誘致され、既に500人近い日本人会が組織されており、名古屋間の定期路線が週2便運行されています。天津天女化工集団と合併で設立した天津達一琦精細化工では、柔軟剤、精練剤などの界面活性剤を製造しています。

(2) 江蘇省無錫市 江蘇省の東南部に位置する無錫市は、上海から120km離れた揚子江デルタ地域のほぼ中心にあり、既に日本企業が約800社近く、欧米企業も数多く進出し、電子機器やIT(情報技術)関連製品などを生産する工業都市

です。晋一化工(台湾、立大開発投資との合併)と2002年に合併で設立した晋一化工科技無錫において、EBA(エチレンビスステアリルアミド)、カチオーゲンES-Oなどを製造しています。

3. 樹脂用薬剤の安定供給

EBAは、スチレン系樹脂や硬質塩化ビニル樹脂などの滑剤として用いられています。融点が高く、熱安定性に優れていることから、樹脂の透明性を損なうことなく、良好な内部滑材として働きます。また、熱可塑性樹脂や感熱テープのアンチブロッキング剤や、合成ゴム、塗料の表面光沢付与剤として使用されています。

カチオーゲンES-Oは、四級アンモニウム塩型のカチオン



DSK上海の活動拠点・新虹橋センタービル

性界面活性剤で、耐熱性にすぐれ、ガラス繊維のサイジング用油剤、ポリエステル繊維、EPS(発泡ポリスチレン)などの帯電防止剤、染色用均染剤、皮革用乳化脱脂剤、塗料・顔料のフラッシング剤、乳化重合用薬剤、離型剤として幅広く用いられています。

これらの化学品の輸出入販売、市場調査は、2004年に設立したDKS上海(帝開思上海国際貿易)へご相談ください。

なお、上海では京都一來上海電子材料が、電子部品メーカー向けの導電ペーストの生産を開始しています。